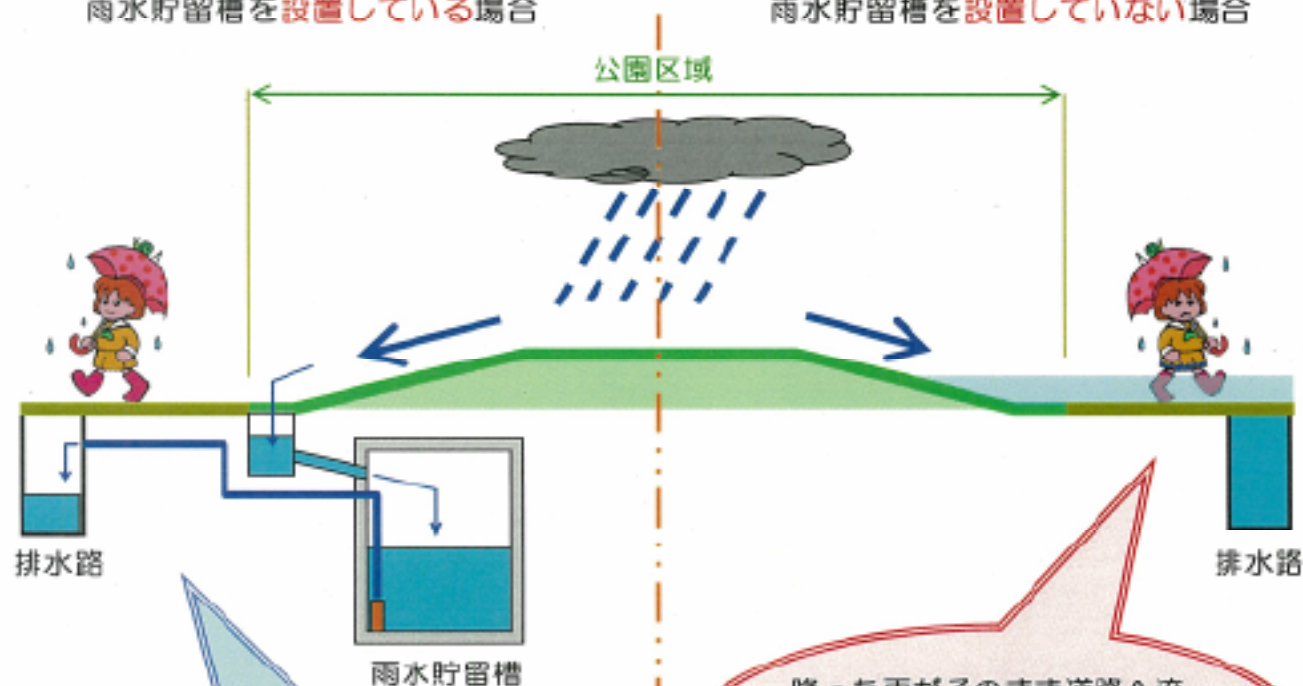


雨水貯留槽の概要

- 目的 広い公園敷地に降った雨水が全て公園外に流れ出てしまったら… 道路の排水路はすぐに溢れて道路冠水などの水害が起きてしまいます。そこで、公園内に降った雨水は全て一度貯留槽に貯め、ゆっくりと放流することで水害を抑制します。
- 貯留容量 3基で約4,700立方メートル（学校の25mプールの約12個分）

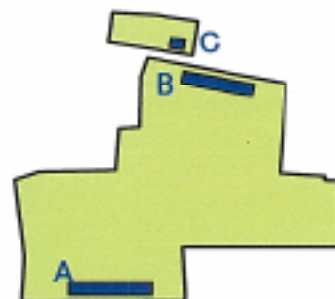
雨水貯留槽を設置している場合

雨水貯留槽を設置していない場合



公園内に降った雨を一時的に貯留して少しずつ排水路に放流するため、道路冠水を抑制いたします。

降った雨がそのまま道路へ流れ出るため、すぐに排水路が溢れてしまい、道路冠水や河川の増水の要因となります。



公園周辺の排水区域に合わせて、公園内には3箇所の貯留槽が設置されています



貯留槽の底部を作っています



貯留槽内部は非常に広いです